

# 草の根通信

Vol.72 (2012年11月14日発行)

Japan-America

GRASSROOTS  
SUMMIT  
in North Texas



クロージング・セレモニーで披露された南三陸町の行山流水戸辺鹿子躍(ぎょうざんりゅうみとべししおどり)

## P12 事務局だより

- ・しまね大会情報  
「銭太鼓をご存知ですか？」
- ・事務局のうごき



## P12 協賛企業一覧

平成23年度寄附協賛企業一覧

次回のサミット大会は  
島根県で2013/7/2-7/8に開催！



Shimane Grassroots Summit 2013



P09

参加者の声



P08

ペリー提督子孫、マシユー・ペリー氏による講演  
於：オープニング・セレモニー



P07

クロージング・セレモニー

アート地区のウォーキングツアー

ポスト・サミット・オプショナル・プログラム



P06

フォートワース市街地散策

地域分科会ホームステイ・プログラム



P04

グレイプバイン・ツアー

レンジャーズ試合観戦

P03

大会スケジュール・データ

特集

たくさんのご協力ありがとうございました  
第22回ノース・テキサス大会開催報告





いつも新しい空を目指して。

**ANA**

A STAR ALLIANCE MEMBER 

国内線のお問合せ ☎ 0570-029-222 (全国一律料金) 国際線のお問合せ ☎ 0570-029-333 (全国一律料金) [www.ana.co.jp](http://www.ana.co.jp)





第22回日米草の根交流サミット

# ノース・テキサス大会 開催報告

第22回日米草の根交流サミット ノース・テキサス大会は、2012年8月28日から9月4日まで、テキサス州北部の15市においてダラス・フォートワース日米協会とCIEの共催で開催されました。「TOMODACHI イニシアチブ」から支援を受けた宮城県内の3つの中高生グループ(草の根通信71号参照)と、小沢一郎CIE会長から支援を受けた岩手県釜石市の中学生グループを含め、11歳から85歳までの180名が日本各地から参加しました。(写真は、釜石から参加した中学生とアービングの皆さん)

## 大会スケジュール

8/28(火)	参加者日本出発、フォートワース到着 グレーブバイン観光 テキサス・レンジャーズ球場ナイトゲーム観戦 ＜ヒルトン・フォートワース泊＞
8/29(水)	ローカル・ツアー オープニング・セレモニー&ウェルカム・レセプション ＜ヒルトン・フォートワース泊＞
8/30(木)	地域分科会へ出発 ＜ホームステイ＞
8/31(金)	地域分科会プログラム ＜ホームステイ＞
9/1(土)	地域分科会プログラム ＜ホームステイ＞
9/2(日)	各地域からダラスへ移動 クロージング・セレモニー、アートディストリクト・ツアー ＜マリオットシティホテル泊＞
9/3(月)	成田へ向けて出発 またはオプション・プログラムへ参加
9/4(火)	帰国

## 大会参加者数

日本からの参加者数: 180名

イベント別参加者数:

- ・レンジャーズのナイトゲーム 736名
- ・オープニング・セレモニー 500名
- ・ホストファミリーとその家族 282名
- ・クロージング・セレモニー 400名
- ・ボランティア、スポンサー、  
関連イベント出席者等 1,384名

参加者総数  
3,200名



無事にダラス・フォートワース空港へ到着



ストックヤードのビジターセンターで



メイヤーソン・シンフォニーセンターで



# 特集 ノース・テキサス大会 開催報告

## 8月28日

### ★ グレープバイン・ツアー

午前中の便で到着した参加者たちは、空港近くのグレープバインを観光しました。ここではガラス吹き工房、市の文化博物館などを見学し、昼食は市からの特別招待で市議会議員や市の観光協会の職員からの歓迎を受けました。



運営委員のエレインさん(左端)とボランティアたち



グレープバイン市による歓迎ランチ



スポンサー議員による説明

### ★ レンジャーズ試合観戦



試合前のフィールドでのイベント風景。藤崎駐米大使、石巻リトルシニアのメンバーら

夕方からは、午後便で日本から到着した参加者といっしょに、テキサス・レンジャーズとタンパベイ・レイズ戦を観戦。南三陸から参加した高校生を中心とする水戸辺鹿子躍のグループは、試合に先立ち、フィールドで勇壮な躍りを披露しました。また、石巻から参加したリトル・シニアの少年野球団は、試合前にレンジャーズの選手と交流を楽しみ、始球式では中学3年生の菅野又海士(すがのまた・かいと)君が投手役を務めました。その様子は日本のテレビや新聞で数多く報道されました。



球場での参加者



勇壮な鹿子躍



始球式の菅野又君



# 特集 ノース・テキサス大会 開催報告

## 8月29日

### ★ ローカル・ツアー

午前中参加者たちは「レンジャーズ野球場裏側探訪とスミス博物館」、「シックスフロア博物館とパイオニア・プラザ」、「フォートワース選りすぐり美術館」、「フォートワース歴史・科学博物館とカウガール博物館」、「造幣局とカベラス」の5つのローカル・ツアーを楽しみました。



カベラス・アウトドアショップ



パイオニアプラザで



ランチ風景



フォートワースの美術館

### ★ オープニング・セレモニーとウェルカム・レセプション

夕刻からはテキサスの雰囲気味わえる「ビリー・ボブズ・テキサス」でオープニング・レセプションが開催されました。セレモニーでは、大会期間中にお世話になるノース・テキサスの15市の市長をはじめ、約500名が草の根サミット大会の開催を祝いました。

クライマックスは、気仙沼中学生代表团 13名による、昨年の地震と津波による被害状況、復興に向けての取り組み、そしてトモダチ作戦への感謝を述べたプレゼンテーションでした。生徒たちによる英語のプレゼンテーションに、目頭を押さえる出席者も多く見られました。ウェルカム・レセプションでは、おいしいテキサスBBQに舌鼓を打ち、フロアで行われたテキサス・ラインダンスのレッスンを楽しみました。



気仙沼中学生代表团の力強いプレゼンテーション



テキサス・ラインダンス教室



ドン・ケインダラス・フォートワース日米協会会長



トム・シーファー前駐日米国大使



渡邊泰造 CIE 理事長のビデオメッセージ



山本条太在ヒューストン総領事



ベッツィ・ブライフォートワース市長



カート・トン在日米大使館首席公使



カズ・マニワ米日カウンシル副理事長



マシュー・ベリー氏 (ベリー提督子孫) 万次郎とアメリカの関わりについて



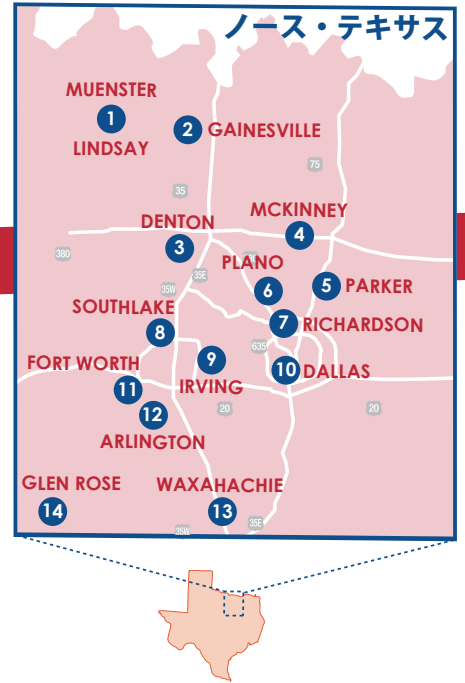
8月30日

★ フォートワース市街地散策



街角で説明を聞く参加者

午前中、参加者たちはグループに分かれヒルトンホテルのケネディ大統領の最後の演説の場所や 100年の歴史がある消防署、歴史的建築物等をまわる1時間ほどのウォーキングツアーを楽しみました。



★ 地域分科会ホームステイ・プログラム (8月30日～9月2日)

8月30日午後、参加者は地域分科会に出発。ホームステイをしながら、地元の方々とテキサスサイズの交流を深めました。



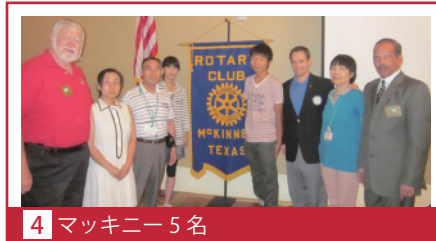
1 マンスター/リンジー 5名



2 ゲインズビル 17名 ※気仙沼市中学生代表団



3 デントン 17名



4 マッキニー 5名



5 パーカー 11名 ※行山流水戸辺鹿子躍保存会



6 プレーノ 17名



7 リチャードソン 16名



8 サウスレイク 10名



9 アービング 5名 ※釜石市内中学生



10 ダラス 14名 ※釜石市内中学生と一般参加者



11 フォートワース 15名



12 アーリントン 17名 ※石巻リトル・シニア



13 ワックスハチ 3名



14 グレンローズ 6名



### ★ クロージング・セレモニー



中濱家とホイットフィールド家による地球儀の交換



ベル・トーンズによるアカペラ・コーラス



しまね大会のプレゼンテーション



再会を約束して

クロージング・セレモニーは、ダラスのアート地区のメイヤーソン・シンフォニー・センターを会場にサザン・メソジスト大学のベル・トーンズのアカペラ演奏で幕を開け、南三陸町の行山流水戸辺鹿子躍の勇壮な舞も披露され、会場はその迫力に圧倒されていました。来年の開催地の島根県からは、島根紹介のビデオと、民族芸能である銭太鼓が披露されました。来年の大会実行委員長である有馬毅一郎氏の呼びかけに、アメリカの参加者たちはすっかり島根に魅了されていました。ホストファミリーとの別れを惜しむ姿があちこちで見られました。



マイク・ローリングス  
・ダラス市長

トム・シーファー  
大会運営委員長

ジョン・スティック  
大会副運営委員長

リチャード・ウッド  
CIE-US 理事長

エイミー・ホフランド  
クロウ・アジア美術館  
ディレクター

### ★ アート地区のウォーキングツアー



美術館に向かう参加者



道案内のボランティアといっしょに



クロウ美術館へ

式典後は、たくさんのボランティアのサポートを得て、アート地区の美術館やコンサート・ホールを探訪する散策に出発。短いダラスでの時間を楽しく過ごすことができました。

### ポスト・サミット・オプション・プログラム

大会終了後は、「フェアハイブ・ホームステイとボストン」、「ミネソタ・ホームステイとシアトル」、「サン・アントニオとオースティン」の3つのオプション・プログラムで現地の日米協会や万次郎関連団体の方々の協力により、さらに交流を深めることができました。



ボストンでの夕食



ホイットフィールド船長の家で



ミネアポリスのショッピングモール



シアトルのモノレール駅で



アラモ砦の前で



オースティンの木陰で



# ペリー提督子孫、マシュー・ペリー氏による講演 於：オープニング・セレモニー



## 「日米草の根交流サミット・ノーステキサス大会－日米関係」

歴史の浅いアメリカ合衆国と、古い歴史を持つ日本は、19世紀中頃、それぞれ大きな変貌を遂げていました。アメリカ合衆国は北米西域を領土に組み入れることで面積を拡張し、日本は将軍による長きに渡る鎖国政策に疑問を持ち始めていました。

当時テキサスは独立した共和国でした。1835年から1843年にかけて独自の海軍を有し、メキシコの侵略を抑えるのに必死でした。その後、1843年にテキサス共和国がアメリカ合衆国に合併された際にテキサス海軍はアメリカ海軍に吸収されます。しかし合併後もメキシコとの交戦状態はやまず、1846年から1848年にかけて米墨戦争がおきました。私の先祖マシュー・ペリー提督がベラクルス包囲戦や複数のメキシコ沿岸都市での戦闘に加わったのもその時代です。

そして、少年ジョン万次郎が捕鯨船船長のウィリアム・ホイットフィールド氏のもとマサチューセッツで教育を受けていたのも、米国とメキシコが戦っているこの時期でした。ホイットフィールド船長は太平洋の無人島に流されていた万次郎を救出し、ハワイを経てニューベッドフォード近くのフェアヘイブンへ連れて帰りました。当時の日本は鎖国政策を布いており、日本を去った者が帰国するのはたいへん危険でした。しかし万次郎は英語を学びアメリカ人との交友を深めた後、家族に会い、アメリカでの生活を伝えるために日本へ帰国することを強く望み、1851年に日本への長い旅に出ました。

偶然にも、その年ペリー提督は日本への遠征に備えてニューベッドフォードの捕鯨船の船長達と連絡を取り合っていました。そして1852年に日本の海域で航行した経験のある捕鯨船員からさらに話を聞くためにニューベッドフォードへ向かいました。ペリー提督は万次郎について知ってはいましたが、彼と会ったことはなく、ハワイ(当時のサンドイッチ諸島)からやってきた日本人少年について尋ねましたが、その時万次郎はすでに帰国していたのです。

ペリー提督の1853年と1854年の2回に渡る訪日での交渉の行く末に、この万次郎との縁、日米関係の始まりは、興味深く、且つ重大な影響を及ぼしました。外国との関わり方について日本人の意見は二つに分かれていました。そこで大きな役割を果たしたのが万次郎です。彼は日本の幕府にアメリカが野蛮な国ではなく、その発展が日本にとっても価値のあるものであることを理解させました。しかし、幕府は万次郎が真に日本の利益の為に行動していることに確信が持てず、万次郎はアメリカからの交渉人と直接接触することは許されず、日本側の相談を受けるだけにとどまりました。

ホイットフィールド船長の友愛を受け、アメリカで教育を受けた万次郎がアメリカ人について好意的に語らなかったとしたら、ペリー提督の交渉が成功裏に終わらなかったかどうかは知る術もありません。しかし、ほとんどの歴史学者は万次郎の果たした役割は多大であったと信じています。従って、日米和親条約の締結に至った交渉において、私達は万次郎とホイットフィールド船長が果たした役割に感謝すべきでしょう。

今回のノース・テキサス大会を開催することで、長年の日米間の友情を再確認できます。このサミットは、両国国民お互いの文化の違いに対する理解と、認識を高める大切な機会を与えています。また、テキサス滞在中に、メキシコとアメリカの関係を再確認することもできるでしょう。メキシコとアメリカは戦争で戦っていました。しかし、現在は良好な関係を保っています。それはひとえに両国の国民がお互いの国民性と文化を深く理解し合っているからです。ありがとうございました。そして、アメリカへようこそいらっしゃいました。



参加者と写真を撮るペリーさん



## 参加者の声

## 「他者を受入れること、他者に伝えることの重要性を学びました」

ゲインズビル分科会・菊田彩加さん (気仙沼市・中学生)

今回の「日米草の根交流サミット」では、本当に楽しく充実した10日間を過ごすことができました。私にとって初めての海外だったので、出発する前はとても不安でした。英語は授業で学んでいるものの、実際に英語で会話して現地の方々とコミュニケーションが図れるのか、また、生活習慣や文化が異なるアメリカで充実した生活が送れるのか、不安を抱えながらの出発でした。しかし予想とは全く異なり、ホストファミリーをはじめ、サミットのスタッフの方々にとっても親切にいただき、今回のサミットをとっても楽しく、かつ有意義なものにすることができました。

これまでに経験したことのないような新鮮な体験ができたこのサミットですが、私が一番印象に残っているのは、カリスバーク校に行った時のことです。日本語教室へ通っている生徒と一緒に日本語の授業を受けたのですが、そこで学んでいた生徒はとても優しく、分からないことがあると一生懸命に日本語で話しかけてきました。その姿に、自分の考えや思いを他者に伝えることの必要性や、他者を受け入れることの重要性を学ぶことができました。

このサミットで私は多くの方々の優しさや親切心に触れ、以前よりも人に親切にしようという思いが強くなりました。私がこのサミットを楽しく充実したものにできたのは、ホストファミリーやスタッフの方々はもちろん、一緒に参加した中学生のみなさんや学校の先生方、家族、そして支援してくださった方々の存在があったからです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、サミットを通して学んだことや感じたことを生活の中で生かしていきたいと思います。このサミットに参加できて本当によかったです。また機会があったらぜひ参加したいと思います。



白い服が菊田さん



前列左から2番目が菊田さん

## 「夢のような時間でした」

ダラス分科会・松坂 紘斗さん (釜石市・中学生)



前列左から2番目が松坂君

僕にとって今回のサミットは生まれて初めての海外旅行でした。目に映るもの全てが新鮮で違う世界に来たような感覚でした。今でもアメリカでの数々の素晴らしい思い出が鮮明に浮かんできます。アメリカに着くまで僕はうまくコミュニケーションがとれるんだろうか…とずっと不安な気持ちでいました。しかし、会う人全てがとても親切でした。ホストファミリーの方々も自分に積極的に話しかけてくれたり、困ったことがあれば優しく助けてくれました。僕は感動しました。アメリカで過ごした時間は夢のように楽しかったです。このサミットのような国際交流の機会が増えれば日米の結びつきはより良く強いものになるんじゃないかと思いました。

## 「復興と感謝の気持ちが伝えられたら」

パーカー分科会・菅原 将博さん (南三陸町・高校生)

私は今年の夏、ノース・テキサス大会に参加できたことをとてもうれしく思います。アメリカでの経験は初めてのことで、とても楽しかったです。メジャーリーグやアメリカンフットボールの試合を見れたことや、ストックヤードと造幣局を見学できたこと、そしてホームステイと一つひとつが思い出に残るものでした。

ホストファミリーのみなさんには英語が話せない私たちを温かく迎えてくださり、とても感謝しています。今度はもっと英語を勉強してホストファミリーに会いに行きたいです。

また水戸辺鹿子躍りをアメリカのみなさんに知っていただけたことがとても嬉しいです。復興と感謝の気持ちが少しでも伝わっていただければ嬉しいです。これからもこの夏の経験を生かし、高校生活などの場に生かしていきたいです。



左から2番目中央が菅原君



## 「浴衣を通じて草の根交流」

プレーノ分科会・團 宏明さん・保子さん（東京都）



浴衣の團さん夫妻とホストファミリー

今回初めて参加しました。宏明は本財団発足時からの会員ですが、大会には初参加。保子はアメリカ訪問自体が初めてでした。

まずは準備のすばさで、大人数をこれだけ広範に派遣し調整できるのは大変でしょうが、見事に調整されていることに感心。また今回は大震災のこともあり、東北からの参加は有意義で、また来られた方のパフォーマンスの質の高さに感動しました。さらに開会式閉会式、また地域での市長さんの歓迎など、米側の熱意と評価に驚きました。

プログラムでは、「ホームステイ」が最も魅力的かつ心配なことでした。プレーノ市役所で、ポンス夫妻と対面するまで、ハラハラドキドキでした。浴衣をいっしょに着たら楽しいかなと持参して行ったのですが、テキサスレンジャーズ観戦の時、球場にいた人たちがとてつもなくビッグで、計画遂行は無理かなと心配しました。結果はとてつもなく浴衣の似合うメアリーさんで大いに喜ばれました。

選挙が近いこともあってか、「オバマ支持」と言明されたり、「失業問題は日本ではどうですか？」と聞かれたり、予想を超えた会話に戸惑いましたが、英会話力不足でも、意識や気持ちが通じ合えるんだなと思いました。とてもいい経験をしました。次回は、少しでもお手伝いができるように準備して参加したいです。

## 「テキサスの豊かさとは」

マンスター／リンジー分科会・杉浦 勉さん（京都府）

豊かさとは何か。多くの日本人がここ数年来、自らに問いかけ続けるこの疑問を、テキサスは何度も私に投げかけた。私は渡米は初めてである。もちろんテキサスも。歴史が浅い国の何が面白いのか、と少し敬遠していた節もある。事実、初日に観光したグレーブパインでは、数十年ほど前に設置されたガソリン給油器が歴史的建造物になっていた。私が住む京都では、「この前の戦争」と言えば、当然、応仁の乱（1467年から1477年までの10年間）を指すことを考えると、100年未満の過去は歴史ではなく、つい最近という感覚である。

ホームステイしたリンジーも、歴史は深くない。いわゆる田舎で、広大な土地があるが、街頭では人通りも車通りも少ない地域である。えらいところに来てしまったなあ。そう思い始めた不躰な私を微塵も嫌がることなく、ホストファミリーのメツラーさんは町を案内してくれた。そこで私は自らの見識の狭さを知ることになる。大切に牛を育てる牧場、生活を支える風力発電、アルミ加工を手がける部品会社、地域の通信を担う電話会社、肉の鮮度にこだわるスーパー、地域社会の中心にある教会、豊かな土地を抱えるワイナリー、などなど。誰もがみな、自信と誇りを持って働いていた。自分たちの仕事を私に紹介したくてたまらない、そんな姿勢がひしひしと伝わってきた。工場でもスーパーでも、不満げに仕事している人など、誰一人としていなかった。

町を端から端まで案内してくれたメツラーさんも自信と誇りに満ちていた。彼はリンジーの市長を務めている。自分が代表である町を良く思うことは当然ではある。が、たとえ市長という役職を離れたとしても、彼は同じように自信と誇りを持って私に町を案内してくれるだろう。それほど彼はリンジーを愛していた。静かに、だが、情熱的に。

歴史はあまり深くない。街頭は賑わっていない。テキサスはそういうところだ。でも、人々の生活は充実している。とても楽しそうに生きている。至極豊かだ。テキサスは豊かである。私たちが追求すべき豊かさとは、こういうことではないのか。そうした熱い想いをテキサスは私に残してくれた。ありがとう。テキサス。

…と、ここで擱筆すべきだが、一言どうしても残しておきたい。豊かなことは良いが、食事の量が豊かすぎるのだ！おかげで、1週間で3kgも太った。これが豊かさの行き着く先か（お腹をつまみながら）。



杉浦さん(右端)と有村さん、ホストのメツラーさん





次の花を咲かせよう。

世界を舞台に多岐にわたる分野で、  
様々なビジネスを創造してきました。  
それでも、まだまだ成長過程。  
人のため、社会のために、  
まだ見ぬ花を咲かせていきたい。  
私たちはこれからも創造し続けます。

すべては、  
ひとつの思いから。

[www.mitsubishicorp.com](http://www.mitsubishicorp.com)





## 事務局だより

### しまね大会情報 「銭太鼓をご存じですか？」



ステージ上のみなさん

ノース・テキサス大会では、次回開催地である島根県から参加した13名のみなさんが、クロージング・セレモニーで「銭太鼓」を安来節のメロディに合わせて披露してくださいました。「銭太鼓」は島根県東部、現在の出雲地方に古くから伝わる楽器で、5円玉を十文字になるように取り付けた竹筒を鳴らし、バトンのように投げたり持ち替えたりして音を鳴らします。筒の中には5円玉が6枚入っていて、両手の竹筒2本の5円玉を合わせると12枚になります。この数字は12か月、つまり1年を表しており「銭太鼓」は1年間の幸せをもたらす、という言い伝えがあるそうです。小学校の授業で「銭太鼓」を習った11歳の森田莉央さんがステージ中央でほかの12名のみなさんといっしょに堂々と披露してくれました。

### 事務局のうごき (2012年7月～9月)

- 7/13 (金) ～ 16 (月) ノース・テキサス大会運営委員チーム・ジョーンズさんと気仙沼市・南三陸町・石巻市訪問
- 7/22 (日) ～ 29 (日) アメリカ出張 (オースティン、サン・アントニオ、オースティン)
- 7/23 (月) ノース・テキサス大会運営委員チーム・ジョーンズさんと米国大使館訪問
- 7/29 (月) 「ノース・テキサス大会」島根オリエンテーション (9名参加)
- 8/ 2 (木) 「ノース・テキサス大会」高知オリエンテーション (8名参加)
- 8/ 3 (土) 「ノース・テキサス大会」登米オリエンテーション (15名参加)
- 8/ 4 (土) 「ノース・テキサス大会」気仙沼オリエンテーション (28名参加)
- 8/ 5 (日) 「ノース・テキサス大会」東京オリエンテーション (20名参加)
- 8/ 7 (火) 「ノース・テキサス大会」京都オリエンテーション (9名参加)
- 8/ 8 (水) 「ノース・テキサス大会」広島オリエンテーション (7名参加)
- 8/11 (日) 「ノース・テキサス大会」石巻リトルシニアオリエンテーション (30名参加)
- 「ノース・テキサス大会」仙台オリエンテーション (5名参加)
- 8/12 (日) 「ノース・テキサス大会」能登オリエンテーション (7名参加)
- 「ノース・テキサス大会」釜石オリエンテーション (24名参加)
- 8/28 (火) ～ 9/ 4 (火) 「ノース・テキサス大会」開催
- 9/ 3 (月) ～ 9/ 7 (金) ポストサミット・オプションツアー実施

## 平成23年度協賛企業一覧

NTTコミュニケーションズ株式会社／キヤノン株式会社／全日本空輸株式会社／株式会社大庄／トヨタ自動車株式会社／  
三井住友海上火災保険株式会社／三菱商事株式会社／三菱食品株式会社／アイシン精機株式会社／  
愛知製鋼株式会社／曙ブレーキ工業株式会社／アサヒグループホールディングス株式会社／イオン株式会社／  
キッコーマン株式会社／麒麟ホールディングス株式会社／コカ・コーラセントラル ジャパン株式会社／  
株式会社ジェイテクト／中部電力株式会社／株式会社デンソー／東京海上日動火災保険株式会社／豊田合成株式会社／  
株式会社豊田自動織機／豊田通商株式会社／トヨタファイナンシャルサービス株式会社／トヨタ紡織株式会社／  
株式会社永谷園／株式会社ニフコ／日本郵船株式会社／日本ユニシス株式会社／パナソニック株式会社／  
日野自動車株式会社／ブラザー工業株式会社／株式会社ブリヂストン／明治安田生命保険相互会社／矢崎総業株式会社